向ヶ岡弥生町

News Letter

VOL.11　2015 年 1 月 1 日発行

異人坂を登る向ヶ岡弥生町会のお神輿　2014 年 9 月 20 日撮影

向ヶ岡をめぐる

向ヶ岡弥生町会は町名が向ヶ岡弥生町から弥生に変更された際、町会と文京区役所との交渉で町会名は変更しない事になり旧町名は町会名の中に残りました。向ヶ岡弥生町の名称は、忍ヶ岡（上野の岡）の向うの岡という地形と位置関係を示す地域名（地質的には本郷台地の一部）と部屋住み時代（水戸藩主就任前）の徳川齊昭が碑文を記し水戸藩駒込邸（中屋敷）に建立した向岡記碑の「弥生」（夜余秘と万葉仮名で記される）を組み合わせ明治 5 年（1872）に名付けられました。

太田南畝は向ヶ岡の範囲について「向ヶ岡は玉河の流れを北に帯て、西は小山田の関よりはじまり、東は末長の里に終れリ。岡の長程六里あまりむさしのゝ南にむかへり。多摩郡橘樹郡の中なりとは、田沢氏の武蔵野地名考にもみえて、土人もいへり。金沢氏、北国にかつてふるき節用集を見しに、西の丸の御城の事を向が岡の御城とあり。思ふに西の丸の辺より駿河台につゞき、本郷池の端のつゞきて、向ひが岡といひしかもしらず。今も忍ばずの池のむかふ、榊原侯の屋敷（現、旧岩崎邸を含む区域）の辺をも、向が岡とよぶはこれならんかし。」（太田南畝　文化 5 年（1808）『向岡閑話　上巻』（ ）原加筆）と述べています。これまで向ヶ岡の範囲は駒込から湯島辺りとしていましたが実際に景観を確認していなかったので忍ヶ岡（上野の岡）の清水観音堂から見える台地の範囲を走って確認しました。走行距離は 15.39 キロ、標高差は 35m でした（GPS 計測値）。

向ヶ岡の坂

向ヶ岡には古くからある坂、明治時代以降名付けられた坂、新たに造成された坂があります。坂には団子坂※、汐見坂※、解剖坂、根津裏門坂※、S坂（新坂）、お化け階段、異人坂※、弥生坂（鉄砲坂）、暗闇坂、無縁坂※、切通坂※、男坂※、女坂※、中坂※、三組坂※、嬬恋坂※、新嬬恋坂、湯島湯島坂※、昌平坂※、相生坂※などが知られています（※ 江戸時代）。JR 駒込駅からスタート。神明坂から向ヶ岡を南下します。

団子坂　向ヶ岡の眺望

団子坂を登り切ると森鴎外の観潮楼跡に文京区立森鴎外記念館があります。鴎外はここからの景観を「崖の上は向岡から王子に連る丘陵である。そして崖の下の畠や水田を隔てて、上野の山と相対している。かの小家の前に立って望めば、右手に上野の山の端が見え、この端と向岡との間が豁然として開けて、そこは遠く地平線に接する人家の海である。今のわたくしの家の楼上から、浜離宮の木立の上を走る品川沖の白帆の見えるのは、この方角である。」（森鴎外『細木香以』）と記しています。弥生町からもこのような景観が展開していたことは、東京大学浅野地区の水戸藩駒込邸庭園からの眺望を描いた、水戸藩士　立原杏所筆の『向岡花甸図屏風』（個人蔵）、信義筆『向岡記』（徳川ミュージアム蔵）、浅野侯爵邸から撮影された写真等からうかがうことができます。

異人坂

江戸時代、水戸藩駒込邸の道が根津小学校との地境にありました。明治時代以降地境側が削平され宅地化。異人坂は石碑に昭和 6 年（1931）に浅野侯爵家が造成したと刻まれています。異人坂の解説板には坂の上にお雇い外国人の宿舎があり、明治 9 年（1876）に東京医学校のお雇い外国人として来日したベルツが住んでいたと記されています。しかし、この宿舎は現在の東京大学医学部附属病院敷地内で、この地は明治時代以降、陸軍省用地、東京府用地、警視局用地（後の警視庁）などを経て現在の東京大学弥生地区は第一高等学校になります。他の区域（弥生地区圃場含む）は浅野家の管理地で宅地化。以上から異人坂の由来については疑問が残ります。この名称が付けられた別の理由があるのかもしれません。坂の造成を浅野侯爵家が行ったことから坂の名称は「浅野坂」「侯爵坂」がふさわしいかもしれません。

弥生坂

弥生坂には鉄砲坂の別名があります。明治時代、弥生 2 丁目の南側にあった警視局（後の警視庁）射的場が名称の由来と考えられます。地図によれば、明治 27～28 年（1894～1895）の間に台地を削平して造成、本郷通りと繋がりました。

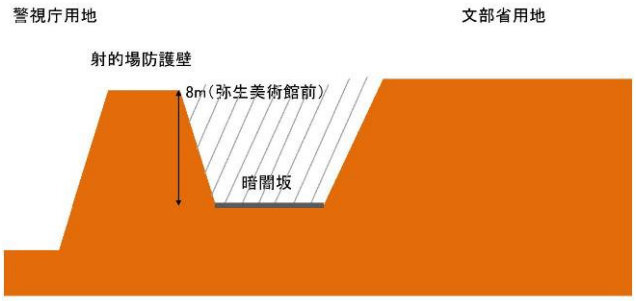
昭和六年二月工事竣成
浅野侯爵家建設
工事監督　青木清太郎
工事請負人　篠原丑蔵

異人坂の碑　11 月 2 日撮影

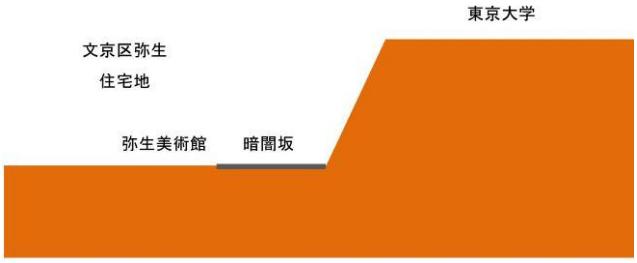
台地を削平して造成された弥生坂
2014 年 9 月 20 日撮影

暗闇坂

明治 10 年（1877）射的場の建設に伴い造成されました。道路の西側は東京大学のある台地、東側は射的場の防護壁で、高さは弥生美術館の辺りで 8m ありました。道路が台地と防護壁に囲まれていたため暗闇坂と呼ばれたと考えられます。暗闇坂の変遷を模式図で示しました。射的場の大森移転後防護壁は崩され住宅地の埋め立てに使用されます。埋まり切らなかったため町内を削平し不足分を補いました。夏目漱石は『三四郎』で射的場が移転した後の暗闇坂の路面状況について「午後四時頃高等学校の横を通って弥生町の門からはいった。往来埃が二寸も積っていて、その上に下駄の歯や、靴の底や、草鞋の裏が奇麗にでき上がってる。車の輪と自転車の痕は幾筋だか分からない。むっとするほど堪らない路だったが、構内へはいるとさすがに樹の多いだけに気分が晴々した。」と記しています。現在も雨水が集まる場所という立地が路面の悪い理由だったかもしれません。江戸時代、本郷から上野へ抜ける坂は湯島切通坂、無縁坂、根津裏門坂などでしたが、弥生坂（言問い通り）、暗闇坂の造成によって上野への便が改善されたようです。東京大学の図面には弥生坂と暗闇坂には「弥生町通り」と記されています。



警視庁射的場　明治 10～21 年（1877～1888）



防護壁を削平し射場を埋立て

明治時代の暗闇坂と現在の暗闇坂（模式図）

暗闇坂　11 月 2 日撮影

向ヶ岡の範囲

向ヶ岡は団子坂の北、道灌山交差点あたりで西に折れ六義園へのびます。北側の範囲はこの辺りまで。向ヶ岡の南側は神田川で分断されているものの向ヶ岡は南へのび、小川町交差点辺りで終わります。台地は神田川の南から南西に曲がるので見える範囲は相生坂辺りまでではないでしょうか。向ヶ岡の範囲はこれまでと変わりませんが、地形と景観から駒込から湯島までと確認できました。

忍ヶ岡の清水観音堂から見える向ヶ岡の範囲と坂

GPS データは 2014 年 12 月 6 日 GARMIN ForeAthiete620J で計測しカシミール 3D で作成

芸工展参加企画　修復のお仕事展’14

今年で 6 回目になる、第 20 回　芸工展 2014 参加企画　修復のお仕事展’14 を 2014 年 10 月 12～19 日に上野の旧平櫛田中邸アトリエで開催しました。展示テーマは修復の「素材」でした。今回、「向岡記碑の文京区文化財指定までの経緯と今後の課題」のポスター展示と常陸太田市真弓山で採集した向岡記碑の材料である寒水石を展示しました。この他「加賀藩上屋敷 育徳園の池（東京大学三四郎池）の現状と課題」のポスター展示をしました。恒例のワークショップを 10 月 12・13 日に開催しました。今回は赤門をスタートして旧平櫛田中邸アトリエまで歩きました。コースは、

赤門—三四郎池—射的場跡—弥生式土器発掘ゆかりの地—向岡記碑—境稲荷神社—不忍池—清水観音堂—旧平櫛田中邸アトリエ

で大名庭園と景観をテーマに歩きました。下見では歩行距離が 8 キロになってしまったのでコースを検討し距離を縮めました。

1 日目の歩行距離は 4.65 キロ、終了予定時刻をオーバーしたおかげで、寛永寺時の鐘の 12 時の鐘突きに遭遇。2 日目はコースを変更、忍ヶ岡の忍ヶ岡稲荷（穴稲荷）などを加えました。歩行 5.27 キロでした。1 日目の参加者数は 32 名、2 日目は悪天候の中 12 名、向ヶ岡弥生町会、常連さん、文京区ガイドクラブメンバーをはじめ、たくさんの方々にご参加いただきました。修復のお仕事展’14 の来場者数は 400 名でたくさんの方々に来場していただきました。

展示のチラシ

ワークショップ 1 日目のコース

ワークショップ 1 日目（写真提供　松田佳代さん）

編集後記

向ヶ岡を走ってみました。スタート地点変更などで 3 回走り直し、地形確認 4 回。合わせて 40 キロ以上走りました。向ヶ岡と弥生町に関わる文学作品を引用しました。向ヶ岡は永井荷風、山田風太郎、司馬遼太郎の作品にも登場します。向ヶ岡には大聖寺藩下屋敷、水戸藩駒込邸、高田藩中屋敷などが配置され、不忍池、忍ヶ岡を眺望した庭園が造成されました。向ヶ岡には壁の白、瓦の黒、邸内の緑という大名屋敷の景観。忍ヶ岡には弁柄の赤、瓦の黒、森の緑という寛永寺の景観が展開していました。

向ヶ岡弥生町

News Letter

VOL.11　2015 年 1 月 1 日発行

発行　原　祐一

連絡先　〒153-8904

東京都目黒区駒場 4-6-1　東京大学埋蔵文化財調査

携帯　080-5504-9782

メール　y-hara@dolphin.ocn.ne.jp

印刷　株式会社　芳文社

〒194-0037

東京都町田市木曽西 2-3-14　電話　042-792-3100